

超多収品種「秋田63号」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

秋田県の気象条件に適応し、低コスト生産のための超多収品種を育成しました。

2 品種の特性・用途・セールスポイント

秋田63号は極めて高い収量性を有し、多肥に依ることなく多収を得られることから、環境保全に向けた施肥効率の向上と稲作の低コスト生産が可能です。

早晚性：トヨニシキより遅い晩生

耐倒伏性：トヨニシキより弱い中

耐冷性：トヨニシキ並のやや弱

収量性：あきたこまちより20%以上多収

千粒重：約30gと極めて大きい

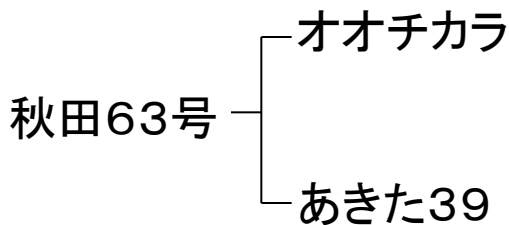
粗蛋白質：トヨニシキより少ない

用途：酒造用かけ米、麴、米粉を使用する製菓など

作付け地帯：県内中央、県南平坦部



3 育成経過



★この品種に関する問い合わせ先★

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312